

2. 国内先進事例等調査

- (1) 「持続可能な原料調達」に関する取組状況
- (2) 先進事例等
- (3) 達成度合い調査
- (4) 認証等導入状況調査 (RSPO)
- (5) 表彰制度候補者調査

上場食品企業における農林水産物に係る持続可能性目標

企業名	目標設定
味の素	2030年までに重点課題原料の持続可能な調達比率100%
明治ホールディングス	2023年までにRSPO認証パーム油への100%代替 2026年までにサステナブルカカオ豆の調達比率を100%へ
日清食品ホールディングス	持続可能であると判断できるパーム油調達の比率を2025年度までに100%
日本ハム	2030年までに認証パーム油への切り替え使用率100%
カルビー	2030年までに認証パーム油の使用率100%
ニチレイ	- グループCSR調達ガイドラインに準拠したサプライヤーやOEM先からの調達率100% - 主要原材料と重要サプライヤーへのESGデューデリジェンス実施率100%
森永乳業	- 原料リスク等によりサプライヤーの管理レベルを評価する仕組みの強化 - 主要原材料の供給リスク対応 主要原材料の複数社購買、地域分散購買 - RSPO認証パーム油の使用拡大
森永製菓	2030年までにカカオ豆、パーム油、紙において100%認証品とする
不二製油グループ本社	- サプライチェーン上における NDPE（森林破壊ゼロ、泥炭地開発ゼロ、搾取ゼロ）の達成 2030年までに農園までのトレーサビリティ（TTP）100% - パルマジュ エディブル オイルの全サプライヤーに労働環境改善プログラム（LTP）を適用し、2025 年までに完了 2030 年までにカカオ栽培地域に対して 100万本植樹 2025 年までに ILO の定める「最悪の形態の児童労働（WFCL）」ゼロ - 大豆および大豆たん白原料におけるサステナブル調達の推進
日本水産	- 水産物の持続可能な調達比率 100% - 主要な1次サプライヤーアセスメント比率 100%
マルハニチロ	2030年までにサプライチェーン上の人権侵害ゼロの確認率100%（G全体） 2030年までにサプライヤーガイドラインへの同意率・重要項目改善率100%（G全体）

2. 国内先進事例等調査

- (1) 「持続可能な原料調達」に関する取組状況
- (2) 先進事例等
- (3) 達成度合い調査
- (4) 認証等導入状況調査 (RSPO)
- (5) 表彰制度候補者調査

消費財メーカーの認証パーム油の取得比率

- 2021年に1万トン以上を取り扱う国内の消費財メーカーは以下の14社（うち食品メーカーは11社）
- 企業によって、認証の取得率にはバラツキがある

消費財メーカー（CGM：Consumer Goods Manufacturer）のうち、 パーム関連取扱量が 1万トン以上の企業	パーム油の総取扱量 Total volume of crude palm oil (トン)	パーム核油の総取扱量 Total volume of crude palm kernel oil (トン)	パーム核の総圧搾量 Total volume of palm kernel expeller (トン)	パーム・パーム核油 関連製品の総取扱量 Total volume of crude palm oil/palm kernel oil-based derivatives and fractions (トン)	パーム油関連 総取扱量の合計 Total (トン)	認証（RSPO）の 取得率
花王株式会社	0	166,482	0	328,952	495,434	26.94%
日清食品ホールディングス株式会社	133,300	0	0	0	133,300	36.04%
東洋水産株式会社	73,000	0	0	0	73,000	77.40%
太陽油脂株式会社	36,852	15,296	0	6,269	58,417	13.92%
山崎製パン株式会社	0	0	0	54,800	54,800	0.04%
カルビー株式会社	41,355	0	0	0	41,355	100.00%
味の素株式会社	25,498	9,966	0	1,309	36,773	34.84%
ライオン株式会社	0	0	0	32,316	32,316	73.73%
江崎グリコ株式会社	16,838	4,040	0	0	20,878	8.22%
株式会社 明治ホールディングス	11,453	1,001	0	8,026	20,480	78.52%
株式会社ロッテ	0	0	0	19,047	19,047	21.79%
森永製菓株式会社	11,817	341	0	0	12,158	0.41%
株式会社ブルボン	8,627	2,170	0	0	10,797	4.77%
株式会社資生堂	18	0	0	10,314	10,332	100.00%

（資料）ACOP2021より、みずほリサーチ＆テクノロジーズ作成

消費財メーカーの認証パーム油の取扱量 (MB/SG/IP別)

■ 日本の消費財メーカーが調達している認証品 (RSPO) の大半はMB認証

単位：トン

	合計	マス・バランス認証 (MB)				セグリゲーション認証 (SG)				アイデンティティ・プリザーブド認証 (IP)			
		認証パーム油 CSPO	認証 パーム核油 CSPKO	圧搾量 CSPKE	関連製品量 Fraction	認証パーム油 CSPO	認証 パーム核油 CSPKO	圧搾量 CSPKE	関連製品量 Fraction	認証パーム油 CSPO	認証 パーム核油 CSPKO	圧搾量 CSPKE	関連製品量 Fraction
花王株式会社	122,920	0	51,625	0	71,295	0	0	0	0	0	0	0	0
日清食品ホールディングス株式会社	48,000	45,000	0	0	0	3,000	0	0	0	0	0	0	0
東洋水産株式会社	12,100	12,100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
太陽油脂株式会社	8,042	4,351	1,433	0	2,254	0	0	0	0	0	4	0	0
山崎製パン株式会社	24	0	0	0	24.4	0	0	0	0	0	0	0	0
カルビー株式会社	18,803	18,803	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
味の素株式会社	12,810	9,723	2,103	0	312	360	7	0	305	0	0	0	0
ライオン株式会社	23,827	0	0	0	23,827	0	0	0	0	0	0	0	0
江崎グリコ株式会社	1,717	572	1,145	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
株式会社 明治ホールディングス	15,999	8,626	820	0	6,553	0	0	0	0	0	0	0	0
株式会社ロッテ	4,151	0	0	0	3,264	0	0	0	887	0	0	0	0
森永製菓株式会社	50	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
株式会社ブルボン	515	515	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
株式会社資生堂	2,759	13	0	0	2,746	0	0	0	0	0	0	0	0

(資料) ACOP2021より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

消費財メーカーのパーム油認証クレジットの取扱量（B&C方式）

単位：トン

	合計	搾油工場からのRSPO認証クレジット RSPO Credits from Mill / Crusher				小規模農家からのRSPO認証クレジット RSPO Credits from Independent Smallholder			
		認証パーム油 CSPO	認証パーム核油 CSPKO	圧搾量 CSPKE	関連製品取扱量 Fraction	認証パーム油 CSPO	認証パーム核油 CSPKO	圧搾量 CSPKE	関連製品取扱量 Fraction
花王株式会社	10,540	0	0	0	10,000	0	54	0	486
日清食品ホールディングス株式会社	36	36	0	0	0	0	0	0	0
東洋水産株式会社	44,400	44,400	0	0	0	0	0	0	0
太陽油脂株式会社	89	8	81	0	0	0	0	0	0
山崎製パン株式会社		0	0	0	0	0	0	0	0
カルビー株式会社	22,552	22,552	0	0	0	0	0	0	0
味の素株式会社	3	3	0	0	0	0	0	0	0
ライオン株式会社		0	0	0	0	0	0	0	0
江崎グリコ株式会社		0	0	0	0	0	0	0	0
株式会社 明治ホールディングス	82	82	0	0	0	0	0	0	0
株式会社ロッテ		0	0	0	0	0	0	0	0
森永製菓株式会社		0	0	0	0	0	0	0	0
株式会社ブルボン		0	0	0	0	0	0	0	0
株式会社資生堂	7,573	5	0	0	7,568	0	0	0	0

（資料）ACOP2021より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

加工業者、輸入業者の認証パーム油の取得比率

- 国内の加工業者、輸入業者のうち、パーム関連取り扱い量が10万トン以上の企業は以下のとおり
- 認証（RSPO）の取得率は、日清オイリオグループが44.1%と最も高く、これに不二製油グループ本社が33.8%と続く

加工業者、輸入業者のうち、 パーム関連取り扱い量が10万トン以上の企業	パーム油の 総取扱量 CSPO (トン)	パーム核油の 総取扱量 CSPKO (トン)	パーム核の 総圧搾量 CSPKE (トン)	合計 Total (トン)	認証（RSPO）の 取得率
不二製油グループ本社株式会社	520,830	118,398	0	639,228	33.78%
日清オイリオグループ株式会社	524,122	102,843	0	626,965	44.09%
三井物産株式会社	400,000	30,000	0	430,000	9.53%
伊藤忠商事	280,540	26,027	0	306,567	16.89%
富士通商株式会社	300,000	0	0	300,000	0.00%
三菱商事株式会社	201,596	75,665	0	277,261	12.59%
株式会社ADEKA	98,000	7,200	0	105,200	27.09%

(資料) ACOP2021より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

加工業者、輸入業者の認証パーム油の取扱量（MB／SG／IP別）

- 国内の加工業者、輸入業者が取扱う認証油（RSPO）を管理方式別にみると、パーム油とパーム関連製品ではマスバランス認証が多く、パーム核油や圧搾ではアイデンティティ・プリザーブド認証油が多い

単位：トン

	合計	マス・バランス認証（MB）				セグリゲーション認証（SG）				アイデンティティ・プリザーブド認証（IP）			
		認証パーム油 CSPO	認証 パーム核油 CSPKO	圧搾量 CSPKE	関連製品量 Fraction	認証パーム油 CSPO	認証 パーム核油 CSPKO	圧搾量 CSPKE	関連製品量 Fraction	認証パーム油 CSPO	認証 パーム核油 CSPKO	圧搾量 CSPKE	関連製品量 Fraction
不二製油グループ本社 株式会社	215,962	91,216	20,577	0	71,555	18,008	0	14,606	0	0	91,216	20,577	0
日清オイリオグループ株 式会社	276,412	1,859	2,627	0	258,794	13,132	0	0	0	0	1,859	2,627	0
三井物産株式会社	41,000	30,000	4,000	0	7,000	0	0	0	0	0	30,000	4,000	0
伊藤忠商事	51,789	45,968	1,491	0	4,330	0	0	0	0	0	45,968	1,491	0
富士通商株式会社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三菱商事株式会社	34,908	27,995	5,950	0	963	0	0	0	0	0	27,995	5,950	0
株式会社ADEKA	28,500	28,000	500	0	0	0	0	0	0	0	28,000	500	0

（資料）ACOP2021より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

加工業者、輸入業者のパーム油認証クレジットの取扱量（B&C方式）

- 国内の加工業者、輸入業者では、B&C方式の認証クレジット（RSPO）を取り扱っていない

単位：トン

	合計	搾油工場からのRSPO認証クレジット RSPO Credits from Mill / Crusher				小規模農家からのRSPO認証クレジット RSPO Credits from Independent Smallholder			
		認証パーム油 CSPO	認証パーム 核油 CSPKO	圧搾量 CSPKE	関連製品量 Fraction	認証パーム油 CSPO	認証パーム 核油 CSPKO	圧搾量 CSPKE	関連製品量 Fraction
不二製油グループ本社株式会社	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日清オイリオグループ株式会社	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三井物産株式会社	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊藤忠商事	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富士通商株式会社	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三菱商事株式会社	0	0	0	0	0	0	0	0	0
株式会社ADEKA	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（資料）ACOP2021より、みずほリサーチ＆テクノロジーズ作成

小売業者の認証パーム油取得比率

- 国内の小売業者が自社ブランド製品に使用するために購入したパーム油、パーム核油、および関連製品の総量は以下のとおり
- 日本生活協同組合連合会とイオンは100%を達成したものの、購入量が最多のセブン＆アイホールディングスは0.14%と低い水準にとどまる
- 認証油（RSPO）の大半がB&C方式によるもの

	自社ブランド製品に使用するために購入したパーム油、パーム核油、および関連製品の総量 (トン)	認証取得比率	搾油工場からのRSPO認証クレジット RSPO Credits from Mill / Crusher				小規模農家からのRSPO認証クレジット RSPO Credits from Independent Smallholder			
			認証パーム油 CSPO (トン)	認証パーム核油 CSPKO (トン)	圧搾量 CSPKE (トン)	関連製品量 Fraction (トン)	認証パーム油 CSPO (トン)	認証パーム核油 CSPKO (トン)	圧搾量 CSPKE (トン)	関連製品量 Fraction (トン)
日本生活協同組合連合会	4,358	100.0%	2,214	103	0	1,671	0	0	0	0
イオン株式会社	4,860	100.0%	4,043	147	0	670	0	0	0	0
パルシステム生活協同組合連合会	228	1.1%	0	0	0	0	0	0	0	0
株式会社セブン＆アイ・ホールディングス	13,345	0.14%	19	0	0	0	0	0	0	0

(資料) ACOP2021より、みずほサーチ&テクノロジーズ作成

小売業者の認証パーム油の取扱量（管理方式別）

- 日本生活協同組合連合会とパルシステム生活協同組合連合会では一部、RSPOのMB認証品を取り扱うものの、イオンとセブン＆ホールディングスではB&C方式以外は購入していない

単位：トン

	マス・バランス認証 MB				セグリゲーション認証 SG				アイデンティティ・プリザーブド認証 IP			
	認証パーム油 CSPO	認証パーム核油 CSPKO	圧搾量 CSPKE	関連製品量 Fraction	認証パーム油 CSPO	認証パーム核油 CSPKO	圧搾量 CSPKE	関連製品量 Fraction	認証パーム油 CSPO	認証パーム核油 CSPKO	圧搾量 CSPKE	関連製品量 Fraction
日本生活協同組合 連合会	323	18	0	29	0	0	0	0	0	0	0	0
イオン株式会社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パルシステム生活協 同組合連合会	0.5	1.5	0	0	0	0	0	0	0	0.5	0	0
株式会社セブン＆ア ・ホールディングス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（資料）ACOP2021より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

2. 国内先進事例等調査

- (1) 「持続可能な原料調達」に関する取組状況
- (2) 先進事例等
- (3) 達成度合い調査
- (4) 認証等導入状況調査 (RSPO)
- (5) 表彰制度候補者調査

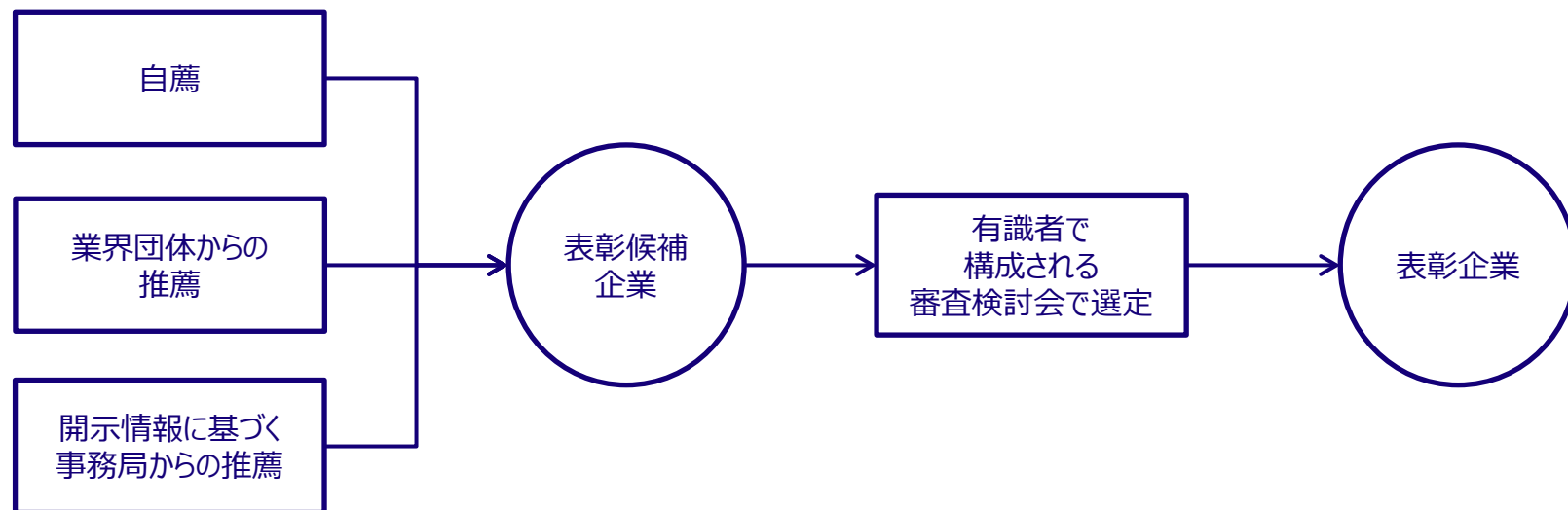
表彰の種類と表彰企業の選定フロー

- 今回の表彰は、農林水産大臣賞1点と官房長賞2点の計3点
- 表彰候補企業は、自薦、業界団体からの推薦、開示情報に基づく事務局からの推薦によって選定。最終的には有識者で構成される審査検討会での検討の結果、表彰対象企業が選ばれる

表彰の種類

名称	審査基準	数
農林水産大臣賞	持続可能な原材料調達に関する取組が特に優良であるもの	1
官房長賞	持続可能な原材料調達に関する取組が優良であるもの	2

表彰対象企業の選定フロー



応募方法と応募期間

- 応募方法：みずほリサーチ&テクノロジーズ（株）のWebサイトで案内及び応募受付
- 応募期間：2023年1月20日～2月15日

企業情報
ニュースリリース
採用情報
お問い合わせ
English

MIZUHO
みずほリサーチ&テクノロジーズ

サービス・ソリューション
セミナー・イベント
ナレッジ・オピニオン
事例・実

ホーム
お知らせ
2023年のみずほリサーチ&テクノロジーズからのお知らせ
「国内食品製造事業者の持続可能な原材料調達の優良企業」の募集について

ー 農林水産省委託事業 ー

「国内食品製造事業者の持続可能な原材料調達の優良企業」の募集について

世界的にSDGsの取り組みが広がり、持続可能性に配慮した原材料の調達に対する関心が高まりつつある中、我が国の食品産業の国際競争力を維持するため、早急に対応を強化する必要があります。

今回、国内食品製造事業者の持続可能性に配慮した原材料調達の取り組みを広く社会に周知することを目的として、先進的かつ優良な取り組みを募集します。

応募いただいた事例の中から優れた取り組みを選定し、農林水産大臣賞等の表彰を行います。

[応募案内 \(PDF/570KB\)](#)

募集要項

対象	食品製造事業者
表彰内容	農林水産大臣賞 持続可能な原材料調達に関する取り組みが特に優良であるもの 官庁長賞 持続可能な原材料調達に関する取り組みが優良であるもの
審査基準	① 先進的かつ優良な持続可能な原材料調達に関する取り組み ② ①に当てはまらないもののうち、①に準ずる効果や波及効果が期待できる取り組み
募集期間	2023年1月20日～2月15日
審査方法	- 第1次審査 事務局は、応募資格や取り組みの内容などに留意しつつ、書類審査を行い、審査検討会に諮る最終審査候補（20件程度）を決定する。 - 最終審査 審査員6名からなる審査検討会は、第1次審査通過候補（20件程度）を一括して審査し、持続可能性に配慮した原材料調達の取組状況と社会への貢献度について総合的な評価から各賞の受賞者を決定する。

応募方法

以下の「応募様式」をダウンロードし、必要事項を記入のうえ電子メールにて送付してください。

[応募様式 \(Word/28KB\)](#)

<送付先>
「国内食品製造事業者の持続可能な原材料調達の優良企業表彰」事務局
E-mail: sustaina_material@mizuho-rt.co.jp

<応募期限>
2023年2月15日 17時

個人情報の取り扱いについて

個人情報の取扱いについては、以下をご確認ください。本ページに関連するご応募、お問い合わせにおいては、同意いただけたものとして取り扱わせていただきます。

▶ [お客様の個人情報保護に関するプライバシーポリシー](#)

▶ [お客様の個人情報の取扱いに係る利用目的](#)

お問い合わせ

「国内食品製造事業者の持続可能な原材料調達の優良企業表彰」事務局
みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社 サステナビリティコンサルティング第2部
担当：能久保、加藤、中村
E-mail: sustaina_material@mizuho-rt.co.jp
電話：03-5281-5639（平日 10時～17時）

応募様式（1と2）

応募様式1 応募者の概要

業態		
企業名		
企業概要	資本金	
	従業員数	
	URL	
	本社所在地	郵便番号 都道府県から記載
代表者	役職	
	氏名	
担当者	所属	
	役職	
	氏名	
	電話番号	
	メールアドレス	
主な取扱原材料名		
添付書類		

※記載する文字数に応じて記入欄を拡大してご記入ください。

応募様式2 推薦者の概要 (推薦者でない場合は記載不要)

推薦者		
担当者	企業名	
	所属	
	役職	
	氏名	
	電話番号	
	メールアドレス	
	本社所在地	郵便番号 都道府県から記載

※記載する文字数に応じて記入欄を拡大してご記入ください。

応募様式 (3)

応募様式3 御社の持続可能な原材料調達に係る取組の概要

該当項目	当てはまるものに「○」 複数選択可。 1. 目標の設定・公表。 2. 社内体制・方針等の整備。 3. 認証原材料の調達。 4. 調達先のデューデリジェンス。 5. グリーバンスメカニズムの導入。 6. 生産者等とのエンゲージメント強化。 7. 社内浸透・サプライヤーの意識啓発。 8. 社外訴求・消費者へのアピール。 9. 国内外のイニシアチブへの参画。 10. 上記各号に準ずる効果的かつ波及効果が期待できる取組で上記に当てはまらないもの。	
取組の概要 【持続可能な経営】	目標の設定。	具体的な取組の概要。
	方針等の設定。	
	社内体制の構築。	
【持続可能な原材料調達のための取組】	認証原材料の調達。	具体的な取組の概要。
	調達先の詳細調査・適正評価。	
	苦情受付・解決の仕組みの導入。	
	生産者等との関係性強化。	
社内外への情報発信等。	社内浸透・サプライヤーの意識啓発。	具体的な取組の概要。
	社外訴求・消費者へのアピール。	

	国内外のイニシアチブへの参画。	
その他。	上記に当てはまらないもののうち、④に準ずる効果や波及効果が期待できる取組。	具体的な取組の概要。

※記載する文字数に応じて記入欄を拡大してご記入ください。

応募様式（4）

応募様式4 御社がアピールしたい具体的な取組の詳細

タイトル。	具体的な取組内容がわかるタイトルを記載してください。」
取組の概要。	600 字程度。 どんな取組をしているのか、その取組のどのような点が優れているのか具体的に記載してください。」 初めて読む人にとって分かりやすく伝わるように工夫してください。」 工夫点、目標やその考え方、目標達成へ向けて重視しているポイントなどについても記載してください。」 取組内容のわかる資料(冊子、チラシ、写真等)をお送りください。」
主な取組の場所(地域)・施設。	その取組を行っている場所や施設の名称と所在地を記載してください。」
主な連携先・連携内容。	その取組を行うために連携している法人・個人名等とその内容を記載してください。」
取組内容を掲載した URL 等。	公式ウェブサイト、YouTube、Facebook など。」
先進性。	その取組内容のうち、他の取組には見られない先進的な特徴や工夫などを記載してください。」
継続性。	取組の開始時期、取組年数を記載してください。」 また、取組に至るまでにどのような課題があったか、今後の方向性等について記載してください。」
費用対効果。	その取組内容のうち、費用対効果が高いと考えられる取組について記載してください。」
波及的効果。	その取組が社内外にどのような効果をもたらしたか記載してください。」
原材料調達に係る表彰等の実績。	原材料調達に係る他の受賞歴について記載してください。」 受賞のわかる URL を記載してください。」
その他のアピールポイント。	」
情報公開の可否。	農林水産省のウェブサイトに掲載することについて。 ☐ 同意する ☐ 同意しない。」 」 ※受賞取組については、農林水産省のウェブサイトなどにおいて御紹介することを御同意いただきます。」

」	応募時に御提出いただいた写真等は、肖像権、著作権を侵害しないように御注意ください。万一、肖像権、著作権の問題が生じた場合は、応募者ご自身の責任となります。」
---	--

※記載する文字数に応じて記入欄を拡大してご記入ください。」

3. 審査検討会・シンポジウムの開催

3. 審査検討会・シンポジウムの開催

- (1) 審査検討会の開催
- (2) シンポジウムの開催

審査委員

- 審査委員は下記の4名（1名は直前に辞退）

審査委員

委員長	富田 秀実	LRQAサステナビリティ株式会社 代表取締役
委員	生駒 芳子	日本エシカル推進協議会 代表理事・会長
//	鶴見 和良	全日本菓子協会 専務理事
//	道田 悦代	日本貿易振興機構アジア経済研究所 主任調査研究員

審査票

区分	No	項目	具体例	取組レベルに応じた配点 (0～10点)					評価点の記入欄	備考
				取り組んでいない	十分ではないが取り組んでいる (レベルに応じて1～4)	取り組んでいる	十分にに取り組んでいる (レベルに応じて6～9)	模範となる取組である		
持続可能な経営の整備	①	目標の設定・公表	・持続可能な原材料調達に係る目標を設定・公表している	0	(1～4)	5	(6～9)	10		
	②	方針等の設定・公表	・持続可能な原材料調達に係る調達方針を作成している ・重要原材料を特定している	0	(1～4)	5	(6～9)	10		
	③	社内体制の構築	・持続可能な原材料調達に係る社内体制を構築している	0	(1～4)	5	(6～9)	10		
持続可能な原材料調達のための取組	④	認証原材料の調達	・サステナビリティ認証の原材料を調達している	0	(1～4)	5	(6～9)	10		
	⑤	調達先の詳細調査・適正評価	・直接的な購入先（加工業者）、一次生産までのトレーサビリティを確保している ・定期的に現場を踏査している ・CSR監査を実施している ・人工衛星を活用して情報を収集している ・NGOと連携して情報を収集している	0	(1～4)	5	(6～9)	10		
	⑥	苦情受付・解決の仕組みの導入	・労働者の苦情処理メカニズムを構築している ・外国人労働者ホットラインを導入している	0	(1～4)	5	(6～9)	10		
	⑦	生産者等との関係性強化	・生産者のサステナビリティ認証取得に向けた支援を行っている ・NGOと連携して小規模農家支援プロジェクトを実施している ・労働環境改善プログラムを実施している	0	(1～4)	5	(6～9)	10		
社内外への情報発信等	⑧	社内浸透・サプライヤーの意識啓発	・サプライヤーに対して、サステナブル調達に係る説明を行っている ・サプライヤーに対して、サステナブル調達に係る調査（アンケート等）を実施している	0	(1～4)	5	(6～9)	10		
	⑨	社外訴求・消費者へのアピール	・NGOと連携して食育活動を実施している ・持続可能な原材料調達に関する授業を実施している	0	(1～4)	5	(6～9)	10		
	⑩	国内外のイニシアチブへの参画	・サステナビリティに係る国内外のイニシアチブに参加している	0	(1～4)	5	(6～9)	10		
その他	⑪	他のアピールしたい取組		0	(1～4)	5	(6～9)	10		
事業による効果等	⑫	先進性		0	(1～4)	5	(6～9)	10		
	⑬	継続性		0	(1～4)	5	(6～9)	10		
	⑭	波及効果		0	(1～4)	5	(6～9)	10		
	⑮	費用対効果		0	(1～4)	5	(6～9)	10		
計								150		

審査検討会の開催概要

- 日時：2月22日（水）10:30～12:30
- 場所：東京都千代田区大手町1丁目5番5号（大手町タワー） 12階会議室
- 出席者：富田委員長、生駒委員、道田委員、事務局 ※鶴見委員は審査票で参加

審査検討会の流れ

- ① 開会のご挨拶
- ② 審査委員長・審査委員のご挨拶
- ③ 応募企業に対する意見交換
- ④ 農林水産大臣賞の決定
- ⑤ 官房長賞の決定
- ⑥ 表彰式及びシンポジウムについて
- ⑦ その他

審査検討会の結果

- 最終候補12社の中から、以下の3社が選定された
- 審査内容は非公開

表彰対象企業

表彰名	表彰企業
農林水産大臣賞	不二製油株式会社
官房長賞	麒麟ホールディングス株式会社
官房長賞	小川珈琲株式会社

3. シンポジウムの開催

- (1) 審査検討会
- (2) シンポジウムの開催

シンポジウムの開催概要

- 日時：3月3日（金）13:30～15:30
- 場所：東京都港区三田3丁目5-27 ツインビル西館 1F ベルサール三田 Room1
- 来場者数：30名
- ウェビナー参加者数：60名

基調プレゼン／調査報告

- LRQAサステナビリティ株式会社 代表取締役 富田秀実氏（審査検討会委員長）より、「持続可能な調達に向けて」というテーマで基調プレゼンを実施
- その後、みずほリサーチ&テクノロジーズより、農林水産省様からの委託事業「持続可能な原料調達の先進事例把握及び対応促進等委託事業」について報告。報告内容は「国内外の持続可能な原料調達の先進事例」の紹介



表彰式

表彰名	表彰企業	表彰状 授与者
農林水産大臣賞	不二製油株式会社	代表取締役社長 大森 達司氏
官房長賞	麒麟ホールディングス株式会社	執行役員 CSV戦略部長 藤川 宏 氏
官房長賞	小川珈琲株式会社	取締役 兼 経営企画室 室長 兼 SDGs推進委員会 委員長 小川 雄次 氏



パネルディスカッション

- テーマ：「持続可能な原材料調達の現状と課題と未来」
- 登壇者： LRQAサステナビリティ株式会社 代表取締役 富田 秀実 氏
日本貿易振興機構アジア経済研究所 主任調査研究員 道田 悦代 氏
不二製油株式会社 代表取締役社長 大森 達司 氏
キリンホールディングス株式会社 執行役員 CSV戦略部長 藤川 宏 氏
小川珈琲株式会社 取締役 兼 経営企画室 室長 兼 SDGs推進委員会 委員長 小川 雄次 氏

